

社会資本総合整備計画

阿見中央地区都市再生整備計画

令和3年4月17日

茨城県阿見町

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和3年4月17日

計画の名称	阿見中央地区整備							重点配分対象の該当									
計画の期間	令和1年度～令和5年度（5年間）			交付対象	阿見町												
計画の目標	<p>大目標：地域資源を活かした市街地の再生による安全・安心で魅力あるまちづくり 目標1：良好な住環境を提供し、住み続けたいまちを創出する。 目標2：災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の憩いの場となる公園の整備により、住民が主体となって取り組みイベントやボランティアなどの活動を継続的に実施し、地域と行政が一体となった良好なまちづくりに取り組む。 ・雨水管や調整池を整備することによって、降雨時の冠水を解消し、安全で安心なまちづくりにより、地域の活性化を図る。 																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
						当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)									
	良好なまちづくりにより、居住世帯数の増加を図る。（居住世帯数 世帯）					5695	5712	5724									
	雨水施設の整備により、3年確率までの降雨時に冠水するエリアを縮小する。（冠水エリアの面積 ha）					2	2	0									
	新たに整備する公園において、住民主体の持続的な取り組み等により、公園利用者の増加を図る。（公園利用者数 人/年）					0	0	8580									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	745百万円	A	745百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	都市再生	一般	阿見町	直接	阿見町	阿見中央地区都市再生整備計画事業	A=352ha	阿見町	R1	R2	R3	R4	R5	745			
									合計					745			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R1	R2	R3	R4	R5				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R1	R2	R3	R4	R5				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R1	R2	R3	R4	R5				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

交付金の執行状況

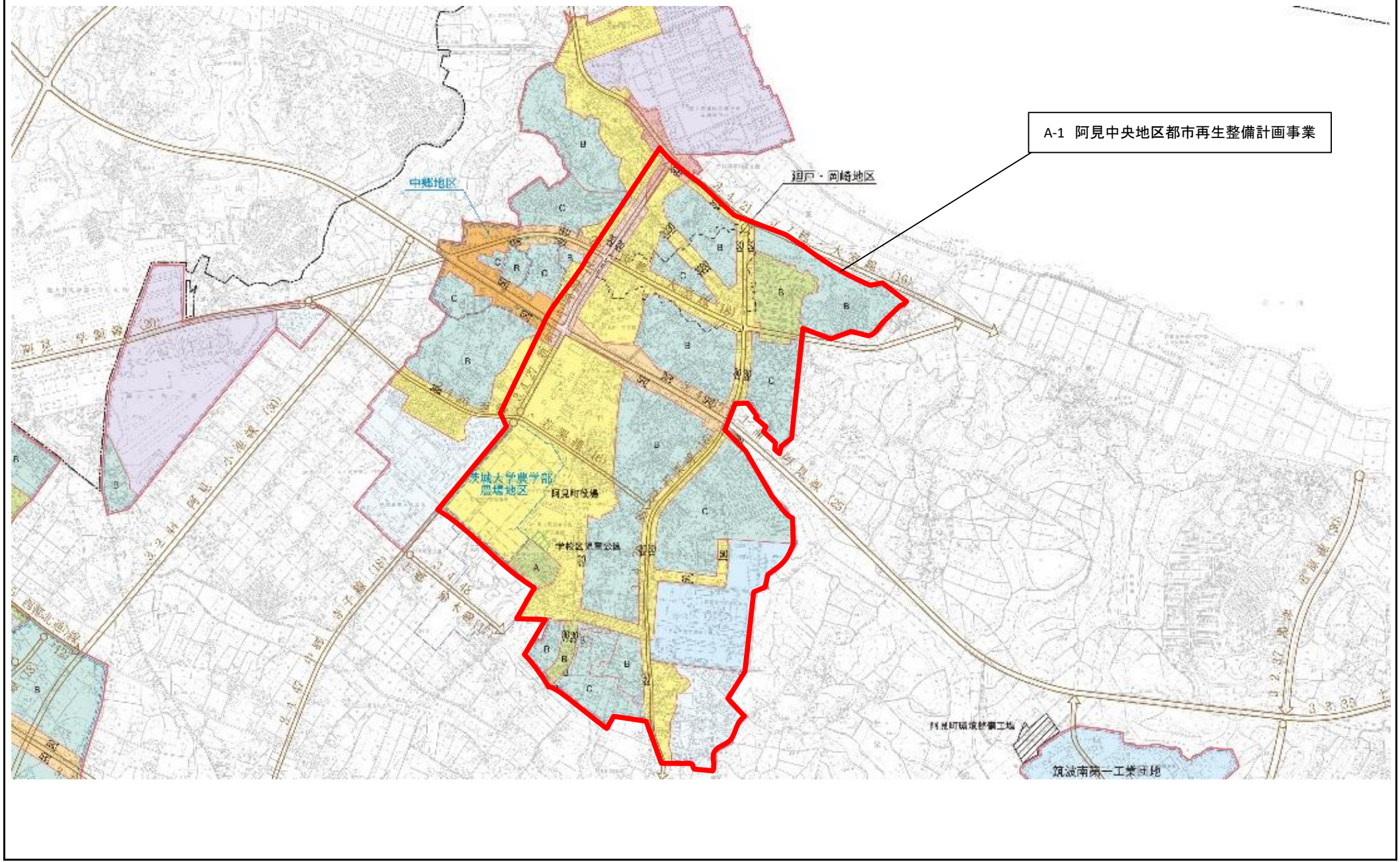
(単位:百万円)

	R1	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	36.6	23.2			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	36.6	23.2			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	36.6	16.4			
翌年度繰越額 (f)	0	6.8			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成31年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	阿見中央地区整備	交付対象	阿見町
計画の期間	令和1年度～令和5年度（5年間）		



A-1 阿見中央地区都市再生整備計画事業

都市再生整備計画

あみちゅうおうちく
阿見中央地区（第1回変更）

いばらきけん あみまち
茨城県 阿見町

令和2年9月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	茨城県	市町村名	あみまち 阿見町	地区名	あみ ちゅうおうく 阿見中央地区	面積	352	ha							
計画期間	令和	1	年度	～	令和	5	年度	交付期間	令和	1	年度	～	令和	5	年度

目標

- 大目標：地域資源を活かした市街地の再生による安全・安心で魅力あるまちづくり
- 目標1：良好な住環境を提供し、住み続けたいまちを創出する。
- 目標2：災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、阿見町の中心市街地として、古くから居住空間の役割を担う地域であるとともに、茨城大学や地区公民館、総合病院等の教育・文化・医療・福祉の多様な機能が集積する町の拠点となる地区である。
- ・これまでの本地区は、昭和40年代からの民間開発等を中心とした宅地化が進み、昭和60年代以降は都市計画道路の整備や土地区画整理事業によって良好な市街地の基盤整備が図られてきた。また、平成21年度からは2期に亘る都市再生整備計画により、本地区を含む周辺地域において様々な事業を展開し、ゆとりと賑わいのあるまちづくりを推進するとともに、町の東西市街地と本地区を連絡する都市計画道路網の整備によって、利便性の高い計画的な地域づくりを進めてきた。
- ・これらの取り組みによって都市の骨格づくりは推進され、良好なまちづくりは確実に成果をあげてきたが、本地区の既存市街地においては地震や大雨等の自然災害への対策や、老朽化が進行する住宅団地や公共施設に係る課題が未解決となっており、安全・安心なまちづくりに支障をきたしている状況下において、未利用地の点在や空き家の増加等、地域の活性化や定住促進の妨げとなっている。

課題

- ・規模の大きい公園がなく、地域のコミュニケーションの形成が図れないことや、災害時の避難所が確保されていない状況である。
- ・雨水排水が適正に処理されていない区域があり、道路冠水や污水管への雨水流入等、衛生環境の悪化を招く被害が発生している。また、新たな開発等の土地利用に支障をきたしている。
- ・昭和40年代から造成された住宅開発エリアの雨水施設や污水施設が適正に機能しておらず、良好な住環境が確保されていない状況となっている。

将来ビジョン（中長期）

【阿見町第6次総合計画】

- ・（基本構想 抜粋）誰もが住み続けたい、住んでみたい、暮らしやすいと感じられるよう、町民の日常生活を支える都市の基盤づくり、都市空間の形成を目指します。
- ・（個別施策の展開）既成市街地においても多様化する町民ニーズに対応した公園機能の充実を図ります。

【都市計画マスタープラン】

- ・（市街地の再整備方針）道路、排水路、公園の維持・更新など、地域の状況に併せた施設整備を図ります。
- ・（公園・緑地・景観整備の方針）曙地区においては、町営住宅の跡地を活用して都市公園の整備を図ります。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
居住世帯の増加	世帯	良好なまちづくりにより、居住世帯数の増加を図る	地域が抱えている課題を解決し、町の基本構想である誰もが住み続けたい、住んでみたい、暮らしやすいまちづくりにより、定住人口の増加を図る。	5,695	H30	5,724	R5	
冠水エリア面積の縮小(1/3降雨量時)	ha	雨水施設の整備により、3年確率までの降雨時に冠水するエリアを縮小する	雨水管や調整池を整備することによって、降雨時の冠水を解消し、安全で安心なまちづくりにより地域の活性化を図る。	2	H30	0	R5	
公園利用者の増加	人/年	新たに整備する公園において、住民主体の持続的な取り組み等により、公園利用者の増加を図る	地域のニーズにあった公園整備や、住民主体のイベントなどを継続的に実施し、愛着の持たれる公園づくりによって、良好な住環境の形成に寄与する。	0	H30	8,580	R5	

画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
(整備方針1)良好な住環境を提供し、住み続けたいまちを創出する。 ・住民との連携によって地域のニーズに即した都市施設を整備し、安全で良好な市街地の形成を図る。	【基幹事業】 ・公園(曙街区公園整備) ・下水道(富士団地污水管改修) 【提案事業】 ・地域創造支援事業(富士団地雨水管改修) ・地域創造支援事業(地区公民館修繕) ・事業活用調査(事業効果分析調査) ・まちづくり活動推進事業(公園ワークショップ)
(整備方針2)災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る。 ・災害時の被害を最小限に軽減させる施設を整備し、土地利用の活性化を図る。	【基幹事業】 ・道路(町道3014号線 道路改築) ・地域生活基盤施設(調整池整備) 【提案事業】 ・地域創造支援事業(排水路改修整備) ・地域創造支援事業(防犯灯設置)

その他

・公園整備計画にあたっては、地域住民との協働によるワークショップを開催し、地域のニーズに即した公園計画を策定していくとともに、阿見町公園緑地里親制度を活用した里親団体の登録に向けた調整を行い、ボランティア活動や地域のイベントの開催を通して、将来に亘って愛着の持たれるコミュニケーションの拠点としていく。

阿見中央地区(茨城県阿見町)	面積 352 ha	区域 阿見町曙、岡崎の全部と青宿、阿見、大室、鈴木、中央、中郷、廻戸、若栗の一部
----------------	--------------	---

